

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 非核平和の願い広げる為に (20分)</p> <p>8月15日、終戦68周年目を迎えました。日本軍国主義の侵略と植民地支配によって、2,000万人のアジアの人達、日本国民310万人が犠牲になりました。衣食住すべてがままならなかった時代を再び繰り返さないという強い反省の上に「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにする」との決意が憲法に明記されました。</p> <p>そして時の政府が簡単に憲法を変えられないように国民が政府に歯止めをかけたのが96条でした。</p> <p>平和憲法があればこそ此の68年間若者を戦場で失うことがなかったのです。</p> <p>今世界では、残念ながら30国以上で紛争や戦争が起きています。</p> <p>おりしも8月15日エジプトではデモ隊が政府の銃撃排除により1日で500人を超える死者が出たと報道され、衝撃を受けました。戦争や紛争では弱い立場の子どもや女性が犠牲になります。</p> <p>しかし、先の参議院選挙で大勝した安倍政権は、自由民主党「日本国憲法改正草案」を急速に進めようとしています。</p> <p>96条の改正から始めると、先の国会で答弁しています。そして、自民党の改憲案には憲法9条に、国防軍を保持する</p>	<p>市長 教育委員会 委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>と記されています。</p> <p>安部政権のこうした動きに対し「再び戦争する国はもうごめんです」と9条の会の平和憲法を守る運動も続けられています。</p> <p>平和の為の戦争展や、原水爆禁止平和大行進、展示等も行われてきました。</p> <p>市に於いては「鶴ヶ島市平和都市宣言」が制定され、鶴ヶ島市平和都市宣言のまちが掲示されました。</p> <p>平和教育のさらなる意識を高める努力もされてきました。こうした事業は大変重要な事だと思います。</p> <p>（1）平和教育と平和意識啓発事業の推進について</p> <p>（2）8月3日から広島、長崎で2013原水爆禁止世界大会が開かれました。著名人516人からの賛同メッセージが寄せられ、「被爆国である日本は核兵器の廃絶は言うまでもなく、放射能放出の危険をはらむ原子力発電も廃棄すべき」と述べていますが、市長の核廃絶に対する認識と行動について</p> <p>（3）安部政権の憲法改正についての市長の見解について</p> <p>2. 原発ゼロ、子どもの命を守ろう！！</p> <p style="text-align: right;">(20分)</p> <p>原発を無くす全国連絡会は、</p>	<p>市長 教育委員会 委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>「さよならアクション1,000万人」を10月13日に実施することを決定しました。</p> <p>原子力発電所の「新規制基準」が7月8日に施行されたのを受けて、4社12基が再稼働を申請しました。</p> <p>「新規制基準」について原子力規制委員会は、世界一厳しい基準と言っていますが、新たな「安全神話」の宣伝にしています。</p> <p>福島原発事故は収束していません。建屋海側の観測孔の地下水から高濃度放射性物質の検出が続き、これを東電は参議院選挙前から分っていながら今まで公表しなかったことが発覚しました。</p> <p>海に漏れ出た汚染水は魚や貝を汚染します。</p> <p>朝日新聞は「汚水危機、廃炉作業破綻招く恐れ」と報道しています。</p> <p>又福島第一原発作業員に、ガンが増えるとされている100ミリシーベルトを超える甲状腺被爆者は、東電公表の11倍の2,000人いたことが明らかになりましたが、全員に知らされていない状況とのことで、今後の対策もはっきりしていません。現場で働く労働者の皆さんの命をかけた努力のおかげで大きな事故にもかかわらず、出来るだけ抑えることが出来たと思います。</p> <p>去る7月9日東京電力福島第一原発事故発生時の所長で事</p>	

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>故収束作業の現場指揮にあられた吉田昌郎さん（５８歳）が食道ガンの為、死去されました。福島現地の労働者と共に日本を救って頂いたことに深く感謝いたします。</p> <p>福島第一原発事故は収束していません。にもかかわらず、原発輸出や再稼働はとんでもありません。</p> <p>又私達の食に対する安全の対策も続ける必要があります。</p> <p>(1) 市長の原発に対する認識と見解</p> <p>(2) 新給食センターの稼働に伴う放射能濃度の測定と状況について</p> <p>(3) 市民持ち込み食材の放射性物質の測定所の設置について</p> <p>3. 莫大な財源を伴う開発行政はやめて</p> <p style="text-align: right;">(10分)</p> <p>市長が県に要請して始まった鶴ヶ島南西部地区の県の農業大学跡地への産業集積と圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺的环境整備は、数十年前に決定した都市計画が基盤となっています。</p> <p>県と市を合わせてどれ位の財源を必要としているのでしょうか。</p> <p>大地震をはじめ何が起きても不思議ではない現在に於いて、開発に投資することは問題があると思います。</p> <p>(1) 開発計画を中止すること</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(2) 緑地を残し、災害に備えること</p> <p>(3) とちの木等植樹について</p> <p>4. 市民からの調査依頼について (10分)</p> <p>学校給食研究会から投書を頂きました。内容は市の管理体制と職員の行動の指摘でした。</p> <p>(1) 通勤手当の不正受給ではないかとの指摘があり、この点について</p> <p>(2) 今後の通勤手当の対応について</p>	<p>市長</p>